

第65回中国・四国地区
高等学校PTA連合会大会岡山大会報告
県高P連副会長(熊毛北高等学校PTA会長) 山道 香奈

令和5年7月14日(金)、第65回中国・四国地区高等学校PTA連合会大会岡山大会が、大会テーマ「集まればこころはればれ 晴れの国」「集まる」「話す」の大切さ再発見のもと、倉敷市民会館ホールにて開催されました。中国・四国より約1200名、山口県から65名が参加されました。

PTA連合会の大会に初めて出席したうえに、電車・新幹線に一人で乗ることも初めての私は「はじめてのおつかいシリーズ」と、はやし立てられながらの出発となりました。切符の出し方が分からず、駅員さんに誘導してもらったのは、ここだけの話。無事に皆さんと合流し、いざ、倉敷散策です。倉敷といえば「美観地区」。風光明媚な川舟を見て心躍り、倉敷銘菓のくらしき桃子の白桃パフェを堪能し、大原美術館でピカソやダリの絵を鑑賞し、高貴な気分になり、最後はお金にしか見えなくなり、そんな自分を必死に追いやり、ノスタルジックな風景に、しばし時間を忘れて楽しみました。

そしていよいよ大会です。紀行作家・建築士の「稲葉なおと」氏から、「倉敷から始める家族旅」と題して講演がありました。稲葉氏はB'zの稲葉浩志のいとこだそいで、興味をそそられました。検索では出てこない豆知識こそ価値があるということで、高校生の心を動かす旅の豆知識56個、おすすめのお話やアイビースクエアなどのお話を聞きました。講演の帰り道、稲葉氏が

媚な川舟を見て心躍り、倉敷銘菓のくらしき桃子の白桃パフェを堪能し、大原美術館でピカソやダリの絵を鑑賞し、高貴な気分になり、最後はお金にしか見えなくなり、そんな自分を必死に追いやり、ノスタルジックな風景に、しばし時間を忘れて楽しみました。

そしていよいよ大会です。紀行作家・建築士の「稲葉なおと」氏から、「倉敷から始める家族旅」と題して講演がありました。稲葉氏はB'zの稲葉浩志のいとこだそいで、興味をそそられました。検索では出てこない豆知識こそ価値があるということで、高校生の心を動かす旅の豆知識56個、おすすめのお話やアイビースクエアなどのお話を聞きました。講演の帰り道、稲葉氏が



示された写真と同じ場所を見つけながらの散策が、とても楽しかったです。

午後からは、高校生による活動発表があり、倉敷古城池高校・倉敷商業高校・倉敷翠松高校の生徒さんの素晴らしい発表がありました。

研究協議では、広島県立広島皆実高校が作成したDVDの上映が一番反響が多く、学校とPTAが同じ方向と同じ思いであったからこそ実現した内容でした。徳島県立吉野川高校のPTAと先生、生徒と一緒に調理研究して楽しんだ活動の発表からは、学校とPTAの信頼関係の強さを感じました。倉敷南高校の外部からの支援についての発表では、OB・学校・保護者の皆様の子供達への思いの強さを感じました。また、一つではなく、二つ三つと状況に応じて選択できるPTA活動の在り方の話を熱く語られました。

今回このような大会に参加させて頂



き、PTAの皆様の熱量・熱意に感嘆し、コロナ禍でPTA活動の制限が続いたことから、これまでとは違う新しい活動の必要性を痛感させられました。さらに、これからの新しい時代をPTAと先生方が協力し合い、子ども達のために、子ども達を支え、ともに成長し、子どもたちが安心して学び生活できるよう支援していきたいと思いを新たにしました。